

福岡市公報 第7239号(別冊3)

令和7年度 下半期

財政状況の説明

(一般会計・特別会計)

財政状況の公表に関する条例の定めるところにより、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市の財政状況を次のように公表する。

令和8年5月28日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市の財政状況（第157回公表）		
目 次		ページ
1	令和8年度当初予算の概要	1
(1)	編成の基本姿勢	1
(2)	令和8年度予算の特徴	2
(3)	予 算 総 額	2
(4)	一般会計予算額	3
(5)	特別会計予算額	5
2	令和7年度下半期における予算の執行状況	6
3	市有財産の状況	8
4	市債の状況	9
5	一時借入金の状況（一般会計）	10

1 令和8年度当初予算の概要

(1) 編成の基本姿勢

令和8年度当初予算は、市債残高の縮減など財政規律を保ちつつ、基本計画に沿った施策を着実に推進する予算を編成したところです。

都市経営の基本戦略である「都市の成長と生活の質の向上の好循環」を持続的なものとするため、もっと住み続けたいまちを目指し、子育てに携わる世帯の市内住替えへの支援をはじめとして、サポートを必要とする子どもたちへの支援、交通体系などの都市機能の充実、快適な生活環境づくり、防災など様々な分野において、暮らしやすさを実感できる施策を実施します。

- ・ 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち
- ・ 都市インフラと歴史・文化を感じるまち
- ・ 防災など主要事業

(2) 令和8年度予算の特徴

歳入面では、個人市民税における納税義務者や給与収入の増加、法人市民税における企業収益の増加、固定資産税における地価の上昇や新增築家屋の影響などに伴い、市税収入は過去最高を更新する見込みです。それに伴い、国からの地方交付税は減少する見込みですが、一般財源総額は令和7年度を上回る見込みです。

歳出面では、社会保障関係費や公共施設の建替え・改修経費が増加しています。

令和8年度末の満期一括積立金を除く市債残高は、令和7年度末と比較して、一般会計で290億円の縮減、全会計で442億円の縮減となる見込みです。

(3) 予算総額

(単位：千円、%)

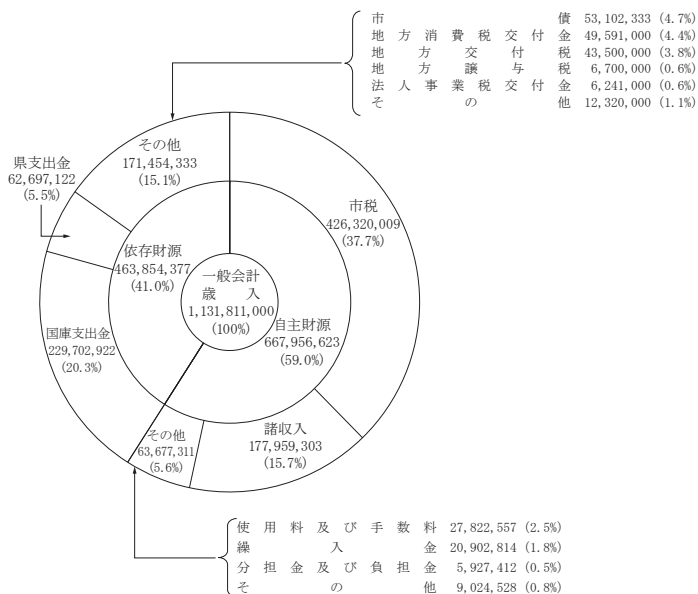
会計別	令和8年度予算額 (当初) A	令和7年度予算額 (当初) B	差引増減額 A - B = C	対前年度伸率 C / B
一般会計	1,131,811,000	1,112,830,000	18,981,000	1.7
特別会計	691,900,951	667,413,931	24,487,020	3.7
企業会計	363,029,561	354,070,520	8,959,041	2.5
合計	2,186,741,512	2,134,314,451	52,427,061	2.5

(4) 一般会計予算額

(歳入)

歳入予算の主なものとしては、市税が4,263億円、構成比37.7%と最も大きな割合を占め、次いで、国庫支出金が2,297億円、構成比20.3%、貸付金元利収入や宝くじ収入などの諸収入が1,780億円、構成比15.7%となっています。

(単位：千円)



自主財源と依存財源

自主財源とは、市税や使用料等市が自主的に収入できるものです。

依存財源とは、国庫支出金や市債等国や県の意思決定等に基づいて収入されるものです。

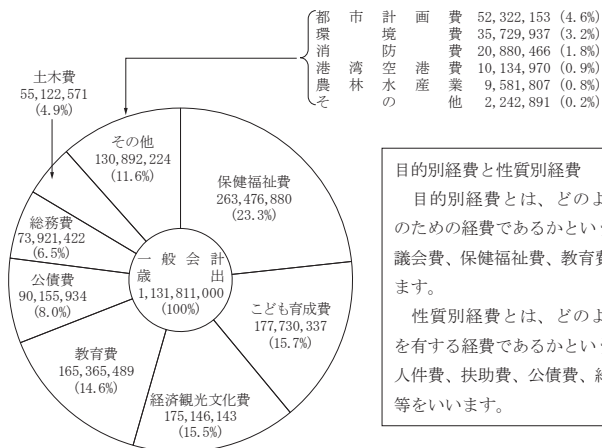
(歳出)

歳出予算の主なものとしては、保健福祉費が2,635億円、構成比23.3%と最も多く、次いでこども育成費が1,777億円、構成比15.7%、経済観光文化費が1,751億円、構成比15.5%、教育費が1,654億円、構成比14.6%の順となっています。

また、歳出予算を性質別で見ると、義務的経費が5,760億円、構成比50.9%となっており、投資的経費が1,099億円、構成比9.7%となっています。

目的別

(単位：千円)



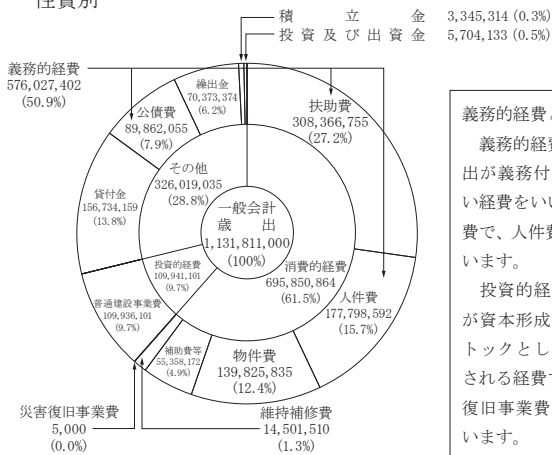
目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような目的のための経費であるかという分類で、議会費、保健福祉費、教育費等をいいます。

性質別経費とは、どのような性質を有する経費であるかという分類で、人件費、扶助費、公債費、維持補修費等をいいます。

性質別

(単位：千円)



義務的経費と投資的経費

義務的経費とは、歳出のうちその支出が義務付けられ任意に削減できない経費をいい、極めて硬直性が高い経費で、人件費、扶助費及び公債費をいいます。

投資的経費とは、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費をいいます。

(5) 特別会計予算額

(単位：千円)

会 計 名	当 初 予 算 額			説 明
	令和8年度	令和7年度	差 引	
後期高齢者医療	32,673,197	27,278,487	5,394,710	後期高齢者医療保険料等に関する会計
国民健康保険事業	145,485,429	144,783,364	702,065	自営業者の方々などが加入する国民健康保険事業運営のための会計
介護保険事業	131,591,539	127,858,472	3,733,067	介護保険事業運営のための会計
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	644,800	905,221	-260,421	母子父子寡婦福祉資金の貸付事業のための会計
企業等成長支援事業	3,066	807	2,259	企業等成長支援事業運営のための会計
中央卸売市場	5,798,936	6,840,980	-1,042,044	中央卸売市場運営のための会計
港湾整備事業	22,545,197	16,763,314	5,781,883	港湾整備事業運営のための会計
市営渡船事業	2,792,638	1,817,462	975,176	市営渡船事業運営のための会計
香椎駅周辺土地区画整理事業	799,447	785,491	13,956	香椎駅周辺地区の土地区画整理のための会計
貝塚駅周辺土地区画整理事業	1,918,064	2,527,238	-609,174	貝塚駅周辺地区の土地区画整理のための会計
公共用地先行取得事業	0	0	0	公共用地の先行取得を図るための会計
財 産 区	259,552	242,872	16,680	財産区有財産の管理会計
市立病院機構 病院事業債管理	660,039	663,578	-3,539	地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る公債を管理するための会計
市 債 管 理	346,729,047	336,946,645	9,782,402	一般会計、特別会計及び公営企業会計の公債を管理するための会計
合 計	691,900,951	667,413,931	24,487,020	

2 令和7年度下半期における予算の執行状況

令和8年3月末日現在の一般会計の予算の執行状況は、最終予算額1兆2,224億1,826万円（繰越額を含む。）に対し、歳入では1兆716億3,395万円、87.7%の収入率、歳出では9,012億2,377万円、73.7%の執行率となっています。一般会計及び特別会計の執行状況は、次のとおりです。

(歳入)

(単位：千円、%)

区 分	予算現在高	収 入 額			収入率
		上半期	下半期	合 計	
一 般 会 計	1,222,418,259	384,303,577	687,330,374	1,071,633,951	87.7
市 税	413,044,873	190,967,205	202,722,761	393,689,966	95.3
地 方 交 付 税	56,461,195	36,521,348	20,518,908	57,040,256	101.0
国 庫 支 出 金	261,936,371	70,162,605	142,835,559	212,998,164	81.3
県 支 出 金	58,854,664	5,704,221	47,390,012	53,094,233	90.2
諸 収 入	198,110,695	5,799,085	183,148,912	188,947,997	95.4
市 の 債	85,661,333	0	32,898,400	32,898,400	38.4
そ の 他	148,349,128	75,149,113	57,815,822	132,964,935	89.6
特 別 会 計	717,442,646	221,628,484	246,079,884	467,708,368	65.2
後 期 高 齢 者 医 療	27,285,251	9,103,612	12,308,783	21,412,395	78.5
国 民 健 康 保 険 事 業	146,834,026	56,360,964	67,736,149	124,097,113	84.5
介 護 保 険 事 業	130,099,322	53,117,043	52,671,888	105,788,931	81.3
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	906,009	730,915	226,441	957,356	105.7
企 業 等 成 長 支 援 事 業	807	0	435	435	53.9
中 央 卸 売 市 場	7,050,421	1,199,168	1,268,677	2,467,845	35.0
港 湾 整 備 事 業	17,333,117	2,501,070	4,007,277	6,508,347	37.5
市 営 渡 船 事 業	1,676,975	196,603	369,269	565,872	33.7
香 椎 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	785,491	2,876	2,876	5,752	0.7
貝 塚 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	3,196,604	410,920	1,209,875	1,620,795	50.7
公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	0	0	0	0	0.0
財 産 区	255,121	28,827	211,595	240,422	94.2
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	663,578	0	663,576	663,576	100.0
市 債 管 理	381,355,924	97,976,486	105,403,043	203,379,529	53.3

(歳出)

(単位：千円、%)

区 分	予算現在高	執 行 額			執行率
		上半期	下半期	合 計	
一 般 会 計	1,222,418,259	494,801,518	406,422,249	901,223,767	73.7
保 健 福 祉 費	274,957,842	105,352,151	103,925,998	209,278,149	76.1
経 済 観 光 文 化 費	206,353,812	176,580,653	11,446,344	188,026,997	91.1
土 木 費	61,052,008	16,666,722	21,273,760	37,940,482	62.1
都 市 計 画 費	63,702,276	6,145,941	40,171,060	46,317,001	72.7
教 育 費	178,924,270	68,239,514	75,015,569	143,255,083	80.1
公 債 費	91,230,886	49,619	239,459	289,078	0.3
そ の 他	346,197,165	121,766,918	154,350,059	276,116,977	79.8
特 別 会 計	717,442,646	200,943,001	314,663,742	515,606,743	71.9
後 期 高 齢 者 医 療	27,285,251	7,474,385	17,614,919	25,089,304	92.0
国 民 健 康 保 険 事 業	146,834,026	52,179,839	83,258,265	135,438,104	92.2
介 護 保 険 事 業	130,099,322	53,022,812	65,144,428	118,167,240	90.8
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	906,009	53,311	70,003	123,314	13.6
企 業 等 成 長 支 援 事 業	807	0	435	435	53.9
中 央 卸 売 市 場	7,050,421	1,221,305	1,646,563	2,867,868	40.7
港 湾 整 備 事 業	17,333,117	2,143,487	4,015,511	6,158,998	35.5
市 営 渡 船 事 業	1,676,975	623,634	743,707	1,367,341	81.5
香 椎 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	785,491	8	7	15	0.0
貝 塚 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	3,196,604	441,787	656,933	1,098,720	34.4
公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	0	0	0	0	0.0
財 産 区	255,121	32,838	159,017	191,855	75.2
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	663,578	0	0	0	0.0
市 債 管 理	381,355,924	83,749,595	141,353,954	225,103,549	59.0

3 市有財産の状況

市有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、船舶、航空機、地上権、備品、出資による権利、有価証券等をいい、これらの令和8年3月末日の現在高は次のとおりです。

区 分	数 量	単 位	備 考
土 地	4,904	万㎡	公園、学校、山林等
建 物	573	万㎡	市営住宅、市立学校等
船 舶	7	隻	766t
浮 棧 橋	26	基	
航 空 機	2	機	
地 上 権	1,431	万㎡	立木等
備 品	64,892	百万円	事務用、教育用機器等
出資による権利	113,234	百万円	福岡北九州高速道路公社等
有 価 証 券	3,304	百万円	
基 金	469,686	百万円	財政調整基金等
債 権	25,295	百万円	貸付金等
商 標 権	21	件	
著 作 権	2	件	
特 許 権	1	件	

4 市債の状況

道路、公園、学校やごみ処理施設等の大規模な建設事業は、短期に多額の費用を要するため、その年度の財源だけでは賄うことができません。そこで、政府や民間等から資金の長期借入れを行います。これらの施設は、将来にわたり利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができます。

(単位：百万円)

区 分		現 在 高 (令和8年3月末日現在)	構 成 比
一	般 会 計	970,800	100.0%
	臨 時 財 政 対 策	377,019	38.8
	都 市 計 画	268,360	27.6
	土 木	190,343	19.6
	そ の 他	135,078	13.9
特	別 会 計	99,952	100.0
	港 湾 整 備 事 業	63,744	63.8
	中 央 卸 売 市 場	16,034	16.0
	市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	9,442	9.4
	そ の 他	10,732	10.7
合 計		1,070,752	
満 期 一 括 積 立 金		273,386	
合計（満期一括積立金を含む）		1,344,138	

※構成比の合計については、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

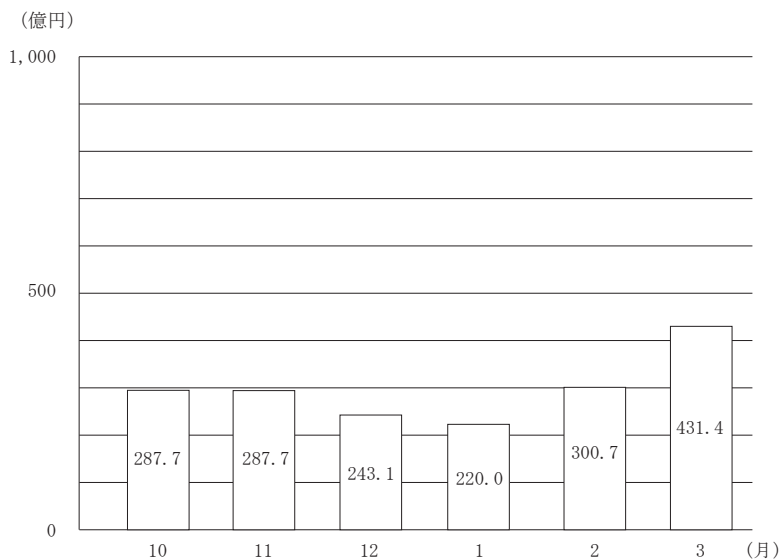
※満期一括積立金は、満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたものです。

5 一時借入金の状況（一般会計）

年度途中において、地方税、地方交付税、補助金、料金収入等の歳入が収入されるまでの間に生じる歳計現金の不足を補うために、予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を、一時借入金といいます。

令和7年度下半期の各月における一時借入金の借入最高額は次のとおりです。

一時借入金（一般会計）



(注) 一時借入金の限度額は、2,000億円。